

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SOKO BANK, LTD.

3-33-13, SAKAE, NAKA-KU

NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所

名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行 7 階

No.3 AUGUST 1975

●ガバナー月信 第3号 昭和50年8月15日

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

■第360地区各ロータリークラブ会長幹事殿

真心から生まれるロータリー

国際ロータリー第360地区ガバナー 山田市三郎

皆さん、お元気でおすごしですか。今年の夏は入梅明けから、30度をこえる猛暑の日が続きました。この炎暑をおかして、私は公式訪問をつづけました。15のクラブで、盛夏をものともせず、奉仕の理想にもえ、精進しておられる多数のロータリアンの皆さんと、「手に手つないで」を歌い、奉仕を語り合いました。

早いものでもう立秋をむかえ、朝夕はいくらか清涼を感じ、月日の流れに淡い憂愁を覚えます。

360地区のテリトリーは愛知県と長野県でありますから、夏の暑いさかりに長野県のクラブを訪問するのが、歴代のガバナーの方針のようです。私もその例にならって信濃のクラブを訪れました。長野県の県歌（浅井冽作詞）が、例会で歌われるクラブがあります。その歌詞を紹介します。

信濃の国は十州に
境連ぬる国にして
そびゆる山はいや高く

流るる川はいや遠し

松本 伊那 佐久 善光寺

四つの平らは肥沃の地

海こそなけれよものさきに

よろづ足らわぬことぞなき

こうした風物詩に富む地方に散在するロータリークラブを公式訪問していると、本当に奉仕の精神に身心共に清めらるる思いがいたします。

松本平に立って四方を眺めますと南、中、北アルプスの霊峰が雲表にそびえております。霧ヶ峰の日光キスゲの花畑を下って行くと、諏訪湖が鏡のように眼下に浮びます。木曽、白馬などのクラブのメンバーは山越え谷をわたって、一日がかりで例会に出席しロータリーを楽しんで、超我の奉仕にいとまが尽きています。大都市のロータリアンの奉仕振りが素晴らしいものでありますが、こうした山国信州に点在する、素朴で清浄な、そして地域社会の真心から生まれるロータリーは比類なく尊いものであると思

■地区大会に関しインバッサイ R. I. 会長より親書

国際ロータリー第360地区ガバナー

山田市三郎殿

拝啓

貴地区大会には、あなたをはじめ貴地区のロータリアンが集まるわけですが、その時には私も気持ちの上では同席しています。ロータリーの親睦という点で、楽しく得るところのある経験となりますようお祈りいたします。

私と妻のアカシアは出席しなかったのですが、それができませんのでシェラー夫妻を私の代理といたします。彼らは、貴地区大会に彼らの友情をそえと共に大会を豊かなものにするでしょう。

この機会が親睦のためばかりでなく「人間に威信を」のために有意義で得るところのあるものとなりますよう切に希望いたします。

大会が成功しますよう、また立派なものになりますように。 敬具

会長 エルネスト・インバッサイ・デ・メロ

■1975年度年度大会会長代理決まる



インバッサイ会長より7月23日付をもって、地区大会会長代理として第2副会長ケネス・A・シェラー氏が任命された旨ご報告がありました。

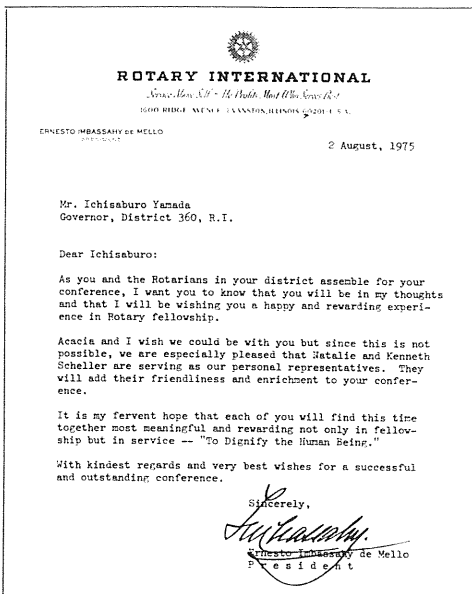
オーストラリア、ニューサウスウェイルズ、ボンダイジャンクション在住

1975～76年度国際ロータリー第2副会長並びに理事

シェラー氏はオーストラリア、ニューサウスウェイルズ、シドニーの大会コンサルタント会社である国際大会運営サービスの専務です。彼は南オーストラリア・アデレード出身です。

シェラー氏はチェアリングクロス商工会議所の会頭をつとめたことがあり、ニューサウスウェイルズの金属器具販売協会の実行委員会委員であり、セントキャサリン学校評議会幹事です。

1951年以来ロータリアンでニューサウスウェイルズのボンダイジャンクションロータリークラブの会員であり元会長です。国際ロータリーには、地区ガバナーとして、地区委員長、委員として奉仕をしました。現在は国際ロータリー第2副会長であります。



います。エマーソンは申しました。「文明の物指しは人口ではない。都市の大きさではない。またその収入高でもない。その国が如何なる人をつくったかによって文明は計られる。」同じようなことを県歌信濃の国の（六）の最後にこう歌っています。

道一筋に学びなば

むかしの人に劣るべき

古来山河の秀でたる

国は偉人のあるならい

残暑はなおきびしいことでしょう。皆さんの一入のご自愛を祈ります。

■地区ロータリー情報研究会開催せまる

地区ロータリー情報研究会の開催が近づいてまいりました。関係者は万障繰り合わせの上ご出席ください。

1. 日 時：昭和50年10月12日（日）

9：00～16：00

1. 場 所：名古屋都ホテル

1. 登録料：35,000円

1. ホスト：名古屋西ロータリークラブ

1. プログラム

9.00 登 録 受 付

9.30 開 会

地区ガバナー歓迎の辞

研究会カウンセラー紹介

研究会カウンセラーによる各試演とそれに続く討論に関する質疑

9.45 クラブ会員増強

「それは貴方に始まる」

スライド（約10分）

10.15 ロータリー情報

「情報をどうぞ」 スライド（約10分）

10.45 休 憩

11.00 広 報

「相違が生じるか」 スライド（約10分）

11.30 青少年奉仕

「門が開かれている」スライド（約10分）

12.00 懇親昼食会

出席者はロータリー委員会乃至は役職毎に同じテーブルにつくこと

13.30 意 見 交 換

これら討論グループはクラブレベルで実施に移すための意見を交換し計画を発展せしめる目的で開かれるものである

第1グループ ロータリー情報委員長

第2グループ 広報委員長

第3グループ 会員増強委員長

第4グループ 青少年奉仕委員長

第5グループ クラブ会長

15.30 閉 会

R. I. 会長閉会の辞（スライド及びテープによる）

研究会カウンセラー閉会の辞

地区ガバナー閉会の辞

16.00 散 会

1. リーダー及びリソースマン

○リーダー ・リソースマン

ロータリー情報委員会委員長グループ

○藤 原 正 男 ・鮎 谷 賢太郎

広報委員会委員長グループ

○鈴 木 敏三郎 ・安 野 譲 次

会員増強委員会委員長グループ

○大 竹 和 美 ・滝 沢 卓 夫

青少年奉仕委員会委員長グループ

○鈴 木 武 二 ・近藤 友右衛門

クラブ会長グループ

○田 宮 佐

田宮 佐カウンセラーのご紹介

(たすく)

略 歴



1955年1月

高槻R. C. 入会

1956～57年

高槻R. C. 幹事

1957～58年

同 上

1960～61年

特別代表とし

て守口R. C. を設立す

1965～66年

第366地区ロータリー財団
専門的訓練担当委員長

1966～67年

同上委員

1971～72年

第366地区年次大会幹事

1973～74年

第366地区ガバナー

1974～75年

第366地区諮問委員
(クラブサービス部門)

第366地区指名委員長

現 在

第366地区諮問委員

(青少年奉仕部門)

第366地区指名委員会委員

第366地区意義ある業績賞委
員会委員

1975年7月9日付

親愛なるロータリアン各位：

「人間に威信を」 という、エルネスト・イムバサイ・デ・メロ会長の1975～76年度のテーマは、その存在価値を探究して止まない人類の根本的願望を突いたものであります。

イムバサイ会長は「人間はすべての中心であり、その尺度なのです。組織が人間に価値を与えるのではなく、人間が組織に価値を与えるのです」と言っておられます。これは人類古来の願望・理想にもつながるものであります。西暦5世紀前、ギリシャの哲学者プロタゴラスは「人間は万物の尺度である。」と言い、2世紀におけるエジプトの哲学者アレキサンドリアのクレメントも、組織が社会やその価値を変革するのではなく、人間が人間によって価値を与えられた組織を通じて、社会やその価値を変革しているのであると言っています。

これと同じ意味で、現状を鑑み将来を考察して、イムバサイ会長は「われわれの組織、ロータリーという団体は、この上ともその価値を高めることをわれわれに期待しています。」と述べておられます。

そして新年度の活動目標六項目を紹介されるに当っては「…各自その分を尽すこと。…捧げること。…協力すること。…つとめること。…献身すること。…協力すること。」と活動の実践を促す言葉を用いて、会長は全世界のロータリアンに「人間に威信を」もたらすため、われわれの活動を強化するべく立ちあがることを要請しておられます。これがわれわれの組織の目標であり、この1975～76年度におけるロータリーの目標なのであります。

公式名簿1975～76年度版

間もなく発送

1975～76年度公式名簿が、間もなく全地区ガバナー並びに全クラブの幹事宛に発送されます。この名簿には、全ロータリークラブの創立年度、地区番号、例会日時と例会場、会長及び幹事の氏名及び住所、会員数などが記載されています。

また各地区の現任及び元地区ガバナー、国際ロータリーの各委員会及び諮問グループの委員を含む、国際ロータリー役員全部の氏名も記載されています。尚また、旅行されるロータリアンの便宜をはかり、世界各国のホテル（旅館やモテルを含む）の名簿も綴じ込んであります。

そしてまた、ロータリー並びにインターアクト、ロータリーアクトの徽章入り製品の製造・販売の認可を受けている業者の名簿も付録されています。

ついては、旅行を予定されている地区内ロータリアン各位が、旅行中に例会出席をマークアップすることができるように各自用の名簿を購入することをご奨励願います。名簿は一部に付、米貨\$2.50で中央事務局よりお求めになることができます。

ロータリーは各種各様の

人達で組織されている

定義を見出すのに、よく、その命題の否定から論究する方法が用いられます。米国ミネソタ州セント・ポール・ロータリークラブの会報編集者が、この方法を用いて、何がロータリーでないかを述べることによって、ロータリーが何

かを論述しておられます。

「ロータリー組織についての概念は十人十色です。ロータリーは世界を救済せんとして行進する改革運動ではありません。しかし、その国際的な組織を通じて理解を深め、世界平和を築くことに努力している運動です。

「ロータリーは寄付の懇請があれば、どの運動や慈善活動に対しても財布のひもを解く、気性の寛大な人達のグループではありません。しかし、ロータリーは有意義な社会事業に対しては、各自その分を尽すばかりでなく、国際的な救済事業にも救援の手を差延べています。

「ロータリーは、毎週楽しい時間を過ごすために会合する、肩をたたき合ったり握手することが好きな人達の集りではありません。しかし、ロータリーは、毎週の例会で会食する度に、朋友仲間としての健康的な親睦を楽しみます。

「ロータリーは、各種各様の人達で構成され、その根本精神に対する態度も同じではありません。しかし、その全会員は、そこに生まれる親睦を通じて、全員、共通の目的「超我の奉仕」を目指して努力しています」

1975年8月1日付

親愛なるロータリアン各位：

「断固として、子供と若人…達のために骨を折って…人間として品位ある将来を期待し得るようにつとめること。」このイムバサイ・デ・メロ会長の言葉は、人生は前を向いて進まねばならない、という会長の人生観を示すものであります。

過去の上に立って、現在に生きるロータリアンは、常に将来のことを念頭において行動します。

青少年活動週間を1975年10月12～18日に控えて、全ロータリアンには将来について、その将来を引継ぐ青少年について真剣に考えるべき特別な理由があるのであります。過日、全クラブへ発送いたしました青少年活動週間資料キットには、この特別週間中に各クラブで実施できる各種の活動方法が提示されています：

例えば、青少年問題の調査研究；ローターア

クト・クラブの結成；インターアクト・クラブの結成；青少年の交換；スカウト運動への参加；青少年の指導力の育成、等々であります。これらの活動の目標となる「人間に威信を！」という今年度のテーマは人類古来の願望と念願に基づくものであり、それは各ロータリアンが高い理想と実践力をもって明るい将来を築くべく努めてこそ、はじめてその成果を望むことができることであります。

については貴地区の各クラブがこの青少年活動週間に当り、その高い理想を行動に示すようにご要請いたします。そうすることによって、デンマークの思想家ソレン・キェルケゴールが「人生は振り返って見てはじめて理解できるものではあっても、前を向いて進まねばならない」といった言葉が、ロータリーの活動とその態度を釈明するものとなるのであります。

職業奉仕とは？

米国インディアナ州、エルクハート・ロータリー・クラブの会報に、その応答を求める職業奉仕についての質問が掲載されていました。

「職業奉仕とは何か？職業道德の高揚をはかることか、自分の従業員との関係を改善することか、青少年に適格な仕事に就くことを奨励することか、公害（大気や海水の公害だけでなく精神的、職業道德上の公害をも含む）の解消をはかることか、諸問題に取り組むことか、身障者の雇用につとめることか？或いは生活の質、共存、貧困、偏狭、貪欲などの問題を抱えた現代にあった生活の質の向上をはかることか？或いは高い理想と実践力を有すロータリー運動の中にあつての生活の質の向上をはかることか？或いは自分自身の生活の質に関することなのだろうか？」

イムバサイ会長は、本年度初頭のメッセージの中で、これらの質問に答えておられます。

「われわれは…行動を強化しなければなりません。われわれの行動の尊さを、はっきり示すために、それぞれの実業人または専門職業人としての活動を捧げること。また、われわれの生活の質の向上をはかるために、われわれの知識の活用をはかること」を会長は要請しておられるのであります。

■インバツサイ R. I. 会長より

会員増強活動の推進について親書

1975年7月11日

全地区ガバナー殿

親愛なるロータリアン各位：

数日前に皆様と私は非常に重要なつとめ、即ち1975～76年度のロータリーにおける指導者となり推進力となる任務遂行に乗り出したばかりであります。私達にはロータリーの全プログラムを推進させるために最善を尽すつとめが課せられ、そして私達はその全力を尽す決意をしてボカ・ラトーンの国際協議会をあとにしたのであります。

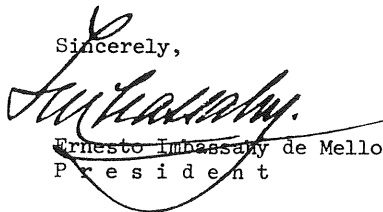
地区ガバナーとして、皆様には重要な任務や仕事が山ほどあり、どこに重点を置いて、何から先ず実行するべきかの順序を定めることが如何に困難なことであるかは容易に察し申し上げることができます。しかしながら、私がお願いいたしておりますのは、皆様の即時実行を要すことに選択され、各クラブへの公式訪問、その他で強調するべきことに選ばれたものの一つが、会員増強である、ということでもあります。

国際ロータリーの躍進如何は、各クラブにおける退会者のあとを充填し、健全な成長率を維持するための新会員の増強、同化教育の如何にかかっているのであります。

国際協議会にて皆様はそれぞれの地区内全クラブの会員数及び出席率についての資料をお受け取りになっておられます。就いては、この資料を活用して、各クラブが会員増強の意義の利点に目覚め、積極的な行動に乗り出すように指導するには、あらゆる方法を活かしてご努力下さるようお願いしたいのであります。これは、われわれのロータリー一年度の初めから終りまで一貫して強調できることであり、そうすることによってこそ年度末には立派な成果を期待できるものと信じます。よって、本年度を通して毎月、皆様の指導の成果と各クラブにおける反響を検討して会員増強活動の推進をお願いする次第であります。

この会員増強については皆様の全面的なご支持が得られるものと信じ、その成果を期待いたしております。 敬 具

Sincerely,


Ernesto Imbassary de Mello
President

■ダーウィン・パキスタン・インド災害援助金について

かねて皆様から拠出いただいておりますダーウィン・パキスタン・インド災害援助金として纏めて、下記の如く200万円、6月3日付にて国際ロータリー財務代行者柏原孫左衛門氏口座へ送金致しましたので、ご報告申し上げます。

記

1. 第255地区 豪州ダーウィン
大暴風雨被害援助金 100万円
2. 第307地区 パキスタン
地震災害援助金 50万円
3. 第305.306地区 インド早魃飢饉援助金
50万円

合 計 200万円

なお、ご協力下さいましたクラブは下記の通りです。

インド早魃飢饉援助参加クラブ

名古屋 中	名古屋 東
名 古 屋	〃 南
名古屋 北	〃 西
〃 守山	〃 和合
豊 橋	〃 東南
名古屋 港	

合計 11クラブ援助額 180,000円
送 金 額 180,000円+320,000円
(第360地区資金より) = 500,000円

豪州ダーウィン・パキスタン

災害援助参加クラブ

碧	南	松	本	南	上	田
一	宮	名古屋	東南	松	本	町
一	宮	北	名古屋	和合	大	町
名古屋	港	豊	川	丸	子	川
尾張	旭	江	南	松	川	沢
田	原	高	浜	稲	田	沢
名古屋	中	犬	山	飯	井	沢
あ	ま	名古屋	守山	軽	井	野
岡崎	東	飯	田	南	中	戸
辰野	島	名古屋	西	瀬	岡	崎
刈谷	奥	三	河	春	日	井
尾西	滑	名古屋	北	長	野	東
常渥	美	飯	島	小	牧	北
木曾	名古屋	空	港	豊	橋	北
蒲郡	名古屋	東	豊	名	古	屋
名古屋	南	諏	訪	豊	橋	橋

合計53クラブ援助額 1,133,010円

送金額 1,133,010円+366,990円

(第360地区資金より) = 1,500,000円

パキスタン地震の被害状況報告

14日間の徒歩視察

第360地区世界社会奉仕委員

光 島 督(軽井沢)

拝啓 小生去る4月より2カ月間パキスタンに参っております。

ところで、出発前に鮎谷賢太郎ガバナー(当時)よりパキスタンはR. I. に対し震災の援助などの申し出をしているので、その実状を見て来てほしいとお話でした。

幸い、小生はバルチスタンのギルギット・フンザのチトラル・スワート、カシミールのスカルドなどパキスタン北部の被災地に入ることが出来ました。

震災そのものより、震災による交通機関の全面的ストップ、道路の崩壊により山岳地帯の村々が孤立してしまい、目下パキスタン軍と中国の軍隊による復興作業が行なわれております。

小生もジープすら不通のため14日間徒歩で旅



シガール村にて(中央)

行をしました。人々に一番不足しているのは食糧と衣料品で特に子供達の姿はみじめでした。

一方、パキスタンのロータリークラブは南のカラチ、中央部のペシャワルではかなり活発な動きがあるように見えたが、首都イスラマバードのクラブは殆んど例会も開かれなような姿であり、隣のラウルピンジーのクラブは例会は開かれますが、いつも幹事とあと一人か二人しか集まらず、消滅寸前のような姿でした。

地元のロータリークラブのこうした姿を見て、落胆致しました。

一方、ラウルピンジーと隣のイスラマバード(首都)にわたってパキスタン日本文化協会というのがあり、多数の会員を持ち、活躍している団体がありました。この団体の会長は最高裁の判事で被災者の救援にも努力しているので、この団体を通じて被災地の子供達に衣料品を送ることに致しました。

軽井沢R. C. と中野R. C. のご好意によりとりあえず400人分の子供の服を寄贈することにし、6月末発送致しました。

地元のロータリークラブを通じて分配してほしいのですが、地元クラブの現状を見て断念し、このパキスタン日本文化協会の手で分配していただくことに致しました。

イスラマバードの日本大使館の中山一等書記官も同意見で荷物の免税処置について協力して下さいとのことです。

以上ご報告申しあげます。鮎谷直前ガバナーにもこの件ご了承いただけるようお口添えをお願い申しあげます。

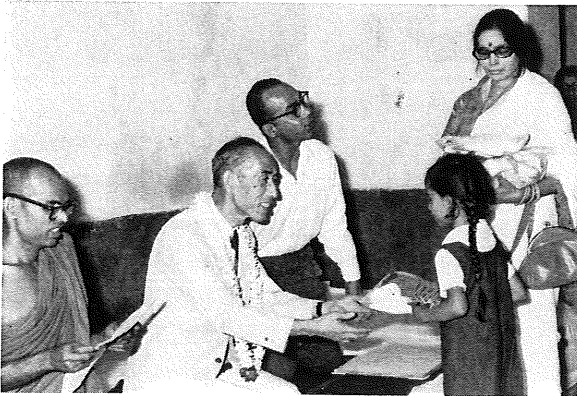
取急ぎご報告まで。

敬 具

(昭和50年7月3日付)

■バン格拉デッシュ子供用中古衣料について

昨年来送付しました子供用中古衣料につきまして、日本総領事ご臨席のもとに配布式を開き、4,000人の児童に配った旨の報告と共に、下記のとおり写真をそえて礼状がまいりました。



児童へ配付される高須日本総領事（左より2人目）

1975年6月25日

名古屋市中区錦1丁目19番30号

名古屋ロータリークラブ

稲垣 実 殿

インドカルカッタ

クリパサラン・コンチネンタル

インスטיテューション

校長 Dharmapal Bhikkhu

拝啓 貴地区の多数のクラブより寄贈いただきました子供用中古衣料65カートンはインド貧窮児童へ配布し終りました。ここにお知らせできますことを欣快に存じます。

1975年3月24日駐カルカッタ日本総領事高須氏臨席の下当地学校児童への配布の儀式を行いました。日本総領事は御演説の中で、「印日間の幾時代にも渉る強い友好関係の必要性を強調され、これらの衣料は日本からインドへの情愛と友好の印であります」と申されました。

私はこれら衣料をカルカッタ市及び周辺ダージイリン、アッサム、メガラヤ、ラジキール、ナランダ方面へ配布しました。

約4,000人の子供がすばらしい贈り物の恩恵に浴しました。

私はこの贈り物は二国間の友好関係の強い絆であると固く信じます。

年間を通じ数多くの日本の方々が当地の寺院を訪れ、暫時滞在して行かれます。我々は共通の宗教である仏教を通じて相互に結ばれているということは大きな喜びであり、幸せなことでもあります。我々は人類に奉仕するものであります。

貴地区のロータリークラブの皆様へインド、カルカッタへお越しいただき、我々の粗末な宿にでもお泊りいただきたいこと、ここにもう一度ご招待申し上げます。私は貴殿がインドへご旅行の折にはお手助けできるものと思います。

私はインドの子供達のために衣料集めにご参加下さいましたロータリーのメンバーの皆様へ心から御礼申し上げます。

敬 具

■ロータリー50年史について

ロータリー日本50年史委員会柏原委員長より50年史を広報に活用すると共に、図書館等に寄付する他、新入会員並びに新設クラブにおいて全員購読くださるよう勧誘方依頼がございましたのでご案内いたします。

1. 本の代金 1部 2,000円（送料別）

1. 注文先 〒100

東京都千代田区有楽町1-5

有楽ビル10階 ロータリー文庫

TEL 03-214-4068

■沖縄国際海洋博についてのご案内

第358地区松平ガバナーより第10分区平良賀計分区代理からの海洋博へのご案内について書状写を相添え地区会員各位によりしく伝達かたご依頼状がまいりました。

.....

昭和50年7月10日

国際ロータリー第358地区

第10分区代理 平 良 賀 計

沖縄国際海洋博についてのご案内

謹啓 時下益々ご健勝のことお慶び申しあげま

す。

さて、『海—その望ましい未来』をメインテーマにした沖縄国際海洋博覧会は、名誉総裁の皇太子殿下ご夫妻をお迎えして愈々この19日開会式が行われます。

沖縄国際海洋博は、世界で初めての催しでもありますだけに、国内はもとより世界各国の関心を集め、会期（昭和50年7月19日～昭和51年1月18日）中、当地では交通、宿泊などの面で相当な混雑が予想されております。よって、航空会社、船会社、ホテルあるいは当地内会場往復の交通機関などすべて旅行業者を通してのセット予約制を採っておりまして、海洋博観覧にはこの予約制を利用する以外に方法はないという状況にあります。

情報によりますと、ただいままでのところ、予約は9月までは満席で、10、11月はまだ余裕があると言われております。参観ご希望の方は早めに御地旅行業者に予約を申し込まれたほうが得策かと存じます。

以上、ご参考までにお知らせ申しあげ海洋博へのご案内と致します。

皆さまのお越しを心から歓迎申し上げます。

謹言

■八戸南ロータリークラブ

チャーターナイトのご案内

第354地区辻ガバナーより当地区内の新クラブ八戸南ロータリークラブのチャーターナイトについて、ご案内がまいりましたので、ご希望のかたは、こぞってご出席ください。

日時 10月12日（日）
登録 13時
式典 13時30分 終了16時
会場 八戸パークホテル
（青森県八戸市吹上幸町）

登録料 6,000円
申込期日 9月20日
事務局 青森県八戸市吹上幸町
八戸パークホテル内
TEL 0178—43—1111

■地区大会大会委員決まる

選挙管理委員会委員長 P. G. 滝沢卓夫

登録委員会委員長 P. G. 近藤友右衛門
信任状委員会委員長 P. G. 原 享二
決議委員会委員長 P. G. 安野譲次
決議委員会委員 P. G. 鮎谷賢太郎
規定審議会委員長 P. G. 安野譲次

■地区大会ポールハリスフェロー

朝食会について

1975年第360地区年次大会の一環として、11月2日（日）ホテルナゴヤキャッスルにおいて、午前8時より開催されるポールハリスフェロー朝食会の招待者資格について、下記のとおり決定しました。

1. 1975年10月15日（水）までに全額払い込まれた会員
2. 払い込み報告を文書にてクラブ幹事より大会事務局へご報告ください。

■オイスカ産業開発協力国から感謝状

1974—5年度中の当地区世界奉仕委員会及び地区内各クラブからの寄付援助に対し、7月23日開催のオイスカデー式典の席上に於て下掲の感謝状が鮎谷直前ガバナーへ授与されました。



オイスカはご承知の如く世界の人口、食糧問題解決のため開発途上国へ指導員を派遣したり、それらの国から研修生を招き農地開発及び農業改善を指導し、産業交流により国家間の親善及び天地の調和を図りつつある大きな民間団体です。

■名古屋空港RC創立一周年記念例会

名古屋空港RCは創立一周年を記念し7月28日の例会に鮎谷直前ガバナー、赤津地区幹事（山田G代理）、斉藤特別代表外近隣のクラブ会長を招き、祝典を催し、野畑鉄男、坂ノ上瀬戸夫両新P. H. フェロー及び原勇次郎準フェロー

を紹介、20万円の特別記念寄付をR財団へ行ないました。

■世界社会奉仕委員会について

本年度は分区単位の規模において事業を行なっていくことになった。よって、分区代理並びに各クラブ団体奉仕委員会は地区世界社会奉仕委員会のプログラムに協力参加することを地区ガバナーは要請します。

■トランスレーションデポ設置について

7月26日開催の諮問委員会において、鮎谷直前ガバナーの事務所で、実費にて英文の翻訳及び作成を行なうことに決定しましたので、ご希望のクラブはお申し出ください。

■第12回国際ロータリー第360地区 インターアクトクラブ協議会開催



- 日 時 昭和50年7月24日(木)～25日(金)
場 所 豊橋市野外教育センター
出席者 ①山田ガバナー、鮎谷直前ガバナー、
藤原ガバナーノミニー候補、森ガバナー
(1976～77) (1977～78)
ーノミニー候補、小森分区代理、ペ
ギーロック・ヒル(交換学生)
②大村地区インターアクト委員長、鈴
木前地区インターアクト委員長、折
井、梅村、松尾各委員
③豊田R.C. 4名 岡崎R.C. 3名
岡崎南R.C. 2名 豊川R.C. 2名
豊橋R.C. 29名
④名古屋インターアクトクラブ 10名
⑤豊橋ローターアクトクラブ 3名
⑥松商学園高校 45名 (教師2名)
松本工業 “ 26名 (“ 1名)
豊田工業高校 19名 (“ 3名)
専門学校
岡崎城西高校 18名 (“ 1名)

岡崎女子 “ 17名 (教師2, 交
換学生1)
豊川高校 16名 (教師1名)
豊橋商業高校 69名 (“ 3名)

■地区資金委員会開催

日 時 昭和50年7月26日(土)
13:00～14:20
場 所 ホテルニューナゴヤ
出席者 山田ガバナー、鮎谷直前ガバナー、赤
津地区幹事、長谷川委員長、大森、丸
山、杉田各委員

■第一回地区諮問委員会開催

日 時 昭和50年7月26日(土)
14:30～15:40
場 所 ホテルニューナゴヤ
出席者 山田ガバナー、内藤、近藤、滝沢、佐
藤、安野、原各パストガバナー、鮎谷
直前ガバナー、長谷川地区会計長、赤
津地区幹事

■第一回地区委員長会議開催

日 時 昭和50年7月26日(土)
15:40～16:40
場 所 ホテルニューナゴヤ
出席者 山田ガバナー、安野職業分類委員長、
原会員増強委員長、滝沢拡大委員長、
近藤ロータリー財団委員長、鮎谷研究
グループ交換委員長、佐藤青少年交換
委員長、鈴木広報委員長、伊藤財団学
友委員長、大村インターアクト委員長
中西ロータリーアクト委員長、水野世
界親睦委員長、河合雑誌委員長、稲垣
世界社会奉仕委員長、藤原オンツーニ
ューオリンズ

■第360地区職業分類、 会員増強合同委員会開催

日 時 昭和50年8月12日(火)
15:00～17:00
場 所 ホテルニューナゴヤ
出席者 安野職業分類委員長、後藤、前田各職
業分類委員、池上、清水、堀田各会員
増強委員、鮎谷直前ガバナー(特別ゲ

スト)

なお、1975年版職業分類対訳者を各クラブに2部ずつ送付しましたが、さらにご希望(ただし実費 500円)があればガバナー事務所までお申し込みください。

慶 弔

次の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

寛 五 一君(尾西)

昭和50年7月26日逝去 67才

寛毛織(株)社長

金 山 聡君(西尾)

昭和50年8月16日逝去 61才

金山化成(株)代表取締役

■ポールハリスフェロー誕生

深く敬意を表しますと共に、心からお慶び申し上げます。

209号 藤 澤 今 正(伊那)

210号 花 輪 清 二(〃)

211号 春 日 勇 一(〃)

212号 宮 下 堯 人(〃)

213号 宮 下 辰 雄(〃)

214号 百 瀬 博(〃)

215号 重 盛 万 春(〃)

216号 御 子 柴 誠(〃)

217号 池 上 房 男(〃)

218号 清 水 哲 夫(〃)

219号 岩 田 蒼 明(名古屋)

220号 中 嶋 幸 一(岡崎南)

221号 坂ノ上 瀬戸夫(名古屋空港)

■クラブ事務所変更のお知らせ

安城ロータリークラブ

新住所 〒446

愛知県安城市桜町16-1

安城商工会議所内

電話番号 (05667) 5-8866

7月会員数及び出席率 (50年8月10日現在)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前順月位	前会員数	増減
1	豊橋北	103	100	5	47	103	
1	名古屋本	89	100	4	15	90	-1
1	松本	75	100	4	1	75	
1	春日井	72	100	4	12	68	+4
1	犬山	65	100	5	1	65	
1	駒ヶ	63	100	4	1	63	
1	岡崎	60	100	4	28	60	
1	飯田	60	100	4	1	60	
1	あま	59	100	4	29	60	-1
1	豊田	52	100	4	18	50	+2
1	常滑	52	100	4	1	52	
1	尾張	42	100	4	1	42	
1	辰野	41	100	5	1	41	
1	輕井	36	100	4	1	33	+3
1	飯島	30	100	5	1	30	
16	豊田東	87	99.76	5	1	83	+4
17	名古屋	82	99.69	4	23	79	+3
18	伊那	63	99.68	5	14	63	
19	豊橋北	92	99.55	5	16	90	+2
20	田原	46	99.46	4	24	46	
21	松本	72	99.44	5	30	70	+2
22	瀬戸	67	99.11	5	24	67	
23	安城	60	99.10	4	38	59	+1
24	名古屋	104	99.04	4	21	102	+2
25	豊川	60	98.99	5	41	58	+2
26	一宮	69	98.91	4	26	69	
27	名古屋和	54	98.89	5	39	52	+2
28	津島	70	98.87	4	1	64	+6
28	小牧	53	98.87	5	46	51	+2
30	碧南	69	98.85	5	13	66	+3
31	上野	62	98.77	4	43	59	+3
32	長野	64	98.69	5	27	64	
33	豊橋	52	98.56	4	19	51	+1
34	飯田	69	98.53	5	17	69	
35	稲沢	54	98.49	5	20	54	
36	刈谷	69	98.46	4	55	66	+3
37	名古屋守	74	98.31	4	35	74	
38	江南	55	98.15	5	44	55	
39	岡崎	76	98.10	5	31	75	+1
40	高浜	41	98.05	5	62	42	-1
41	名古屋	75	97.98	4	40	75	
42	西尾	64	97.68	5	34	64	
43	蒲郡	66	97.62	4	63	63	+3
44	岡崎	43	97.61	5	36	43	
45	新小	40	97.52	4	50	41	-1
46	小名	50	97.50	4	22	48	+2
47	名古屋	128	97.48	5	48	129	-1
平均出席率=97.02%							
48	岡谷	53	96.85	5	58	47	+6
49	名古屋	104	96.67	5	53	104	
50	一宮	85	96.63	5	45	83	+2
51	名古屋東	71	96.62	5	36	71	
52	一色	47	96.17	5	32	47	
53	東海	44	95.91	5	67	46	-2
54	奥三河	34	95.58	4	51	34	
55	松本西	35	95.43	5	56	35	
56	名古屋	214	94.94	5	70	212	+2
57	白馬	29	94.82	4	71	29	
58	大町	61	94.75	5	52	61	
59	名古屋空	70	94.64	4	48	70	
60	松川	36	94.44	5	59	36	
61	渥美	37	93.88	5	56	38	-1
62	戸倉上	32	93.75	4	61	33	-1
62	戸倉上	24	93.75	4	66	24	
64	尾西	42	93.42	4	32	39	+3
65	長木	74	92.60	5	53	72	+2
66	東野	41	92.20	5	64	40	+1
67	東知	41	92.07	4	60	40	+1
68	半田	68	91.96	5	69	66	+2
69	諏訪	52	90.37	4	68	52	
70	中丸	38	89.21	5	65	38	
71	富子	34	83.52	5	72	36	-2
72	富士見	28	79.84	5	42	28	
会員数 4,423名 純増 +59名(累計 245)							

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



山田 市三郎

国際ロータリー第360地区

ガバナー事務所

〒460-91

名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階

☎名古屋(052)262-6111 (交換)

☎名古屋(052)262-2505 (直通)

地区幹事 赤津 賢太郎

(名古屋南ロータリークラブ)